

## 1. 新年のご挨拶（酒井理事長）

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様には大変お世話になりました、誠にありがとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年5月の通常総会において選任されました新役員体制の下、3年毎に策定しております中期活動方針初年度の重点課題の進捗状況について、簡単に報告させていただきます。

（1）中央官庁・自治体との連携強化においては、関東経産局との連携強化により受託した経産省中堅・中核企業経営力強化支援事業、新規に秋田県医療機器案件、高知県産業振興センター案件等を受託しました。

（2）イベント企業との連携強化では、ケーブル技術ショー、モクコレ+の新規案件に加え、新規イベント企業（TSP太陽・南海国際旅行）との取組、産業交流展において事前相談・ブース診断等の新規業務を受託しました。

（3）金融・商工会との連携強化では足利銀行との取組強化により、めぶきものづくり企業フォーラム2025の受託につながりました。新たな重点課題として、①スタートアップ企業支援、②新領域収益事業開拓、③人材不足対策支援、④会員の活躍し易い環境の確保の4つを設定しています。

- ①スタートアップ企業支援については、事業強化伴走型支援を行うため、地方自治体や外郭団体に対して提案営業を行っています。
- ②新領域収益事業開拓については、（株）バトンズとの提携や一般支援先との成功報酬覚書締結等、徐々にではありますが、取り組みが前進しています。
- ③人材不足対策支援については、人手不足を背景に対象分野の拡大（介護、物流、建設、農業、ホテル・旅館等）に伴う新規事業者との契約の締結、関西グループではCBS山陽のベトナム高度人材を特定支援会員2社に紹介しました。
- ④会員の活躍し易い環境の確保については、各グループ定例会におけるハラスメント研修を実施する予定です。他の課題についても最新情報の収集と共有、講習会の実施等、課題に対する取り組みの前進を目指しています。

当NPOの正会員数は、ここ数年20~30名/年の入会者があり、現在260名を超える状況です。平均年齢は73.0歳と徐々に引きあがっておりますが、会員の皆さんの活躍ぶりについては年齢を感じさせないものがあります。

しかしながら、活動の基本となるのは会員各位および皆様の健康であると思います。ご自身の健康に過信することなく、引き続き積極的なNPO活動にご協力いただけますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。

